

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ふれあい入浴			整理番号	291		枝番号					
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	2143		昨年度整理番号	313		
係名				いきがい活動支援係				上位施策名		No			
予算事業名				ふれあい入浴		コード	24950		高齢者の社会参加と交流の拡大		30		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		49年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 老人福祉法第4条1項及び第13条1項						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区ふれあい入浴実施要綱						
	60歳以上の区民と付添者				(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区内の公衆浴場を借上げ、毎月第1・第3日曜日または第2・第4日曜日に、浴場の半数ずつを利用料100円で高齢者に開放する。								
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が公衆浴場に出向き、心身のリフレッシュを図るとともに、高齢者同士の親睦を深めることで、社会参加、交流の拡大を図るきっかけづくりとする。									
(1) 年間延べ利用者数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 高齢者(60歳以上)一人あたりの年間利用回数 = 年間延べ利用者数 ÷ 60歳以上人口									
(2)				(2)									
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%				
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		人	112,054	97,961	117,600	94,223	117,600					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		回	0.99	0.85	1.00	0.80	0.98					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	41,042	36,119	36,974	35,337	35,722	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標(1)の計画値は、実施浴場×年間実施回数×100人で算出				
	(内)委託費		千円	41,040	36,060	36,720	35,190	35,280					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.30	0.25	0.35	0.40					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,598	2,698	2,249	3,148			3,598		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +		千円	44,640	38,817	39,223	38,485	39,320					
	単位あたりコスト ÷		円	398	396	334	408	334					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円	21,001	18,109	18,487	17,763			17,861		
		特定財源計 +		千円	21,001	18,109	18,487	17,763			17,861		
差引:一般財源 -		千円	23,639	20,708	20,736	20,722	21,459						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	80.1	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	95.6	ふれあい入浴を実施している公衆浴場が、年度途中の廃業により減少したため、利用者数の計画を23%下回った。				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			高齢者同士の交流の機会を増やすため、健康に関する講座等の交流事業を、1浴場あたり年2回に増やした。										

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 平成16年度 48か所 ・高齢者(60歳以上)の人口(総人口に対する比率) 昭和50年 58,463人(10.9%) 平成16年度 119,977人(23.4%)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	16年度に杉並浴場組合が作成した「銭湯めぐりマップ」により、各銭湯の設備や事業実施浴場が分かりやすくなった。
	今後の予測	・公衆浴場の減少 ・高齢者(60歳以上)の人口増加

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 高齢者の憩いの場として、高齢者同士が親睦を深めることにより、社会参加、交流の拡大に貢献している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 高齢者の憩いの場として高齢者同士親睦を深めることを目的とし、区内の公衆浴場を廉価で開放する事業を浴場組合に委託している。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 交流の場の拡大を目的とする事業に加え、健康事業を付加した入浴サービスを提供する。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: ふれあい入浴に付随して実施する健康事業は、利用者の負担を導入する。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 委託料は、公衆浴場の通常の入浴料(400円)と利用者負担(100円)の差額である。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年度から、交流の場の拡大を主とした入浴事業から、公衆浴場を活用した高齢者のための健康事業(栄養講座や健康体操)に変更する。そのため、事業名は健康事業に即した名称に変更する。		
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 健康事業は全浴場を会場として全開放日に実施するため、事業を委託する団体を確保することが難しい。浴場組合に事業を委託し、組合とNPO法人等で事業計画を検討し、実施していく必要がある。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由	各浴場が月2回高齢者の健康事業を実施する。	

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		風呂っと杉並事業支援				整理番号	292		枝番号	314		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	2143		昨年度整理番号	314	
係名				いきがい活動支援係				上位施策名		No		
予算事業名				風呂っと杉並		コード	22450		高齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				13 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区風呂っと杉並事業補助金交付要綱							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)							
	東京都公衆浴場生活衛生組合杉並支部、同組合員				(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
区内の公衆浴場を4名以上の60歳以上の高齢者のグループに有料(利用料一人100円)で開放し、自主的な活動や交流の拠点とする風呂っと杉並事業に要する経費について、運営費及び施設改修費を補助する。				公衆浴場が高齢者の健康や生きがいを目的としたグループ活動の拠点となり、高齢者の社会参加と交流の拡大が図られ、健康増進につながる。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 風呂っと杉並事業を実施する浴場数				(1) 風呂っと杉並事業の年間延べ実施回数								
(2) 施設改修費補助浴場数				(2)								
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	所	12	16	21	17	20					
	活動指標(2)	所	6	3	5	1	4					
	成果指標(1)	回	209	349	523	509	735					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,280	8,077	12,475	5,863	10,890	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.30	0.25	0.35	0.40				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,598	2,698	2,249	3,148	3,598				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	15,878	10,775	14,724	9,011	14,488				
	単位あたりコスト ÷		円	1,323,167	673,438	701,143	530,059	724,400				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	2,800	2,700	2,488	2,487			2,445	
		特定財源計 +		千円	2,800	2,700	2,488	2,487			2,445	
差引:一般財源 -		千円	13,078	8,075	12,236	6,524	12,043					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	81.0		活動指標(2)の15年度達成率%	20.0		15年度予算執行率%	47.0			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		保健福祉計画に基づき風呂っと杉並事業の実施浴場を増やすため、浴場組合内で定期的な新規浴場の参入を呼びかけるよう浴場組合に要請した。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 平成16年度 48か所 ・高齢者(60歳以上)の人口(総人口に対する比率) 昭和50年 58,463人(10.9%) 平成16年 119,977人(23.4%)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし
	今後の予測	・公衆浴場の減少 ・高齢者(60歳以上)の人口の増加
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 高齢者の健康やいきがいを目的としたグループ活動の拠点とすることで、高齢者社会参加、交流の拡大に貢献している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 高齢者の活動、交流を促進するために、杉並区浴場組合が公衆浴場を開放し実施する風呂っと杉並事業に要する経費の一部を補助している。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 補助・助成(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容: 公衆浴場の施設改修費補助を実施することにより、風呂っと杉並実施浴場を増加させ、事業を拡大させることができる。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 平成13年度の事業開始当初から受益者負担(利用料一人100円)を実施しており、現在見直しを行うことは困難である。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 実施浴場が回数を重ねることにコストが下がるので、現在の補助額は下げられない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後公衆浴場を通所介護、介護保険外のミニデイなど、在宅サービスの拠点として活用する事業の実施を検討する。
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ミニデイなどを実施できる浴場が少ない。 風呂っと杉並事業を実施している浴場を中心に実施を呼びかけ、指導者の確保及び施設整備について支援する。
	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 風呂っと杉並事業を、在宅サービスの拠点として活用する事業に位置づけ、運営費を補助する方向で検討する。 また、事業実施に必要な施設改修については積極的に助成する。

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		いきいきクラブ活動支援				整理番号	295		枝番号					
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2143		昨年度整理番号	317			
係名				いきがい活動支援係				上位施策名		No				
予算事業名				いきいきクラブ		コード	25350		高齢者の社会参加と交流の拡大		30			
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		33年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 老人福祉法第4条、第13条2項							
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区いきいきクラブ助成要綱							
	杉並区いきいきクラブ 杉並区いきいきクラブ連合会				(3) 杉並区いきいきクラブ連合会補助金交付要綱									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
杉並区に90あるいきいきクラブに対して、生きがい活動・健康づくり等のクラブの定例活動費、社会奉仕活動・友愛活動・地域福祉活動費の助成及び全クラブが加入している連合会へ運営費の助成をする。				生きがい活動、健康づくり、社会奉仕活動等のクラブ活動を活性化する。また、一人暮らし高齢者の話し相手等の友愛活動を始めた地域福祉活動を充実させる。いきいきクラブ指導者の資質向上を図る。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) いきいきクラブ加入人員				(1) $\text{いきいきクラブ加入率} = \frac{\text{いきいきクラブ加入数}}{\text{60歳以上の人口}} \times 100$										
(2) $\text{地域福祉活動費受給クラブ割合} = \frac{\text{地域福祉活動費受給クラブ数}}{\text{全クラブ数}} \times 100$				(2) $\text{地域福祉活動回数(クラブあたり)} = \frac{\text{地域福祉総活動回数}}{\text{全クラブ数}} \div 12\text{月}$										
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
							計画	実績		計画	年度			
指標	活動指標(1)		人	9,915		9,025		10,000		8,224		8,500		
	活動指標(2)		%	98		99		99		99		99		
	成果指標(1)		%	9		8		8		7		7		
	成果指標(2)		回	12		13		14		17		18		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	34,312		33,385		34,185		31,745		33,060	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.00		0.96		0.80		0.16		0.70		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	8,994		8,634		7,195		1,439			6,296
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 + +		千円	43,306		42,019		41,380		33,184		39,356		
	単位あたりコスト ÷		円	4,368		4,656		4,138		4,035		4,630		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円	3,835		3,379		3,452		3,199			3,401
		特定財源計 +		千円	3,835		3,379		3,452		3,199			3,401
差引:一般財源 -		千円	39,471		38,640		37,928		29,985		35,955			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	82.2		活動指標(2)の15年度達成率%	100.0		15年度予算執行率%	92.9				
			14年度のクラブ員数が13年度実績に比して890人の減員したため、15年度計画数に大きな誤差が生じた。さらに1クラブ減があったため。											
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			若干数のクラブが社会奉仕活動を実施していないため、前年に引き続きすべてのクラブが社会奉仕活動を実施するようにする。また、積極的な地域福祉活動の展開を図るため、補助金の見直しを行い、特出した活動を行ったクラブに対しては、奨励金として補助金の優遇をする。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和33年当初 高齢者人口29,907人に対し3クラブ 平成5年 高齢者人口95,172人に対し会員数12,071人(12%)クラブ数96 平成10年 高齢者人口107,118人に対し会員数11,606人(11%)クラブ数100 平成15年 高齢者人口118,129人に対し会員数8,224人(7%)クラブ数90
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	いきいきクラブ会員が高齢化しているため、入りづらい。また魅力的な活動が行われていない。
	今後の予測	60歳以上の高齢者人口(率)の予測:平成17年121,293人(23.67%)、平成22年132,149人(26.14%) (平成12年6月に企画課が推計した各年1月1日の数値)

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:区内全域にわたって設立されていクラブの活動により、広範囲の社会参加、横断的でさまざまないきがい活動が促進される。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由:(現在は、老人福祉法で地方公共団体の支援が定められているため)
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容:活動費等の補助。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 補助・助成(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:いきいきクラブの主目的である社会参加、いきがい活動の促進については、ホームページの開設等のPRの推進により向上させることはできる。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:いきいきクラブの活動の支援を目的としており、該当しない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:現在、地域活動費を全クラブに一律で助成しているが、今後、特に積極的な活動に取り組むクラブにのみ助成を行う方法にする。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 より活発なクラブ活動を展開していくために、活動がめざましいクラブに対しては表彰等を行い、他のクラブへの刺激や更なるクラブ活動の励みになるように促す。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 クラブ会員の高齢化等のため後期高齢者中心のイメージが強い。ホームページ作成や広報紙での各クラブ紹介などにより区民への周知を促し、団塊の世代でも進んで加入したくなるような魅力あるクラブ活動を行うように誘導する。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 補助金を一部会員数割にするため会員の増強を図るクラブが増加すると見込まれるが、17年度は現行の予算のままで維持できるため。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		シルバー人材センター支援				整理番号	296		枝番号				
担当部課名		保健福祉部 高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	1122		昨年度整理番号	319		
係名				管理係				上位施策名		No			
予算事業名				シルバー人材センター		コード	25550		高齢者の社会参加と交流の拡大		30		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		54年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区シルバー人材センター運転資金貸付要綱						
	対象				個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>		(3)						
	社団法人				杉並区シルバー人材センター		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				(社)杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行う。		シルバー人材センターの安定した事業運営を図る。							
活動指標名(式)				(1) 就業実人員		(2) 会員数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
								(1) 年間契約件数					
								(2) 会員の就業率(就業実人員 ÷ 会員数)					
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%			
					計画	実績		17年度					
指標	活動指標(1)		人	1,632	1,738	1,755	1,837	1,860	1,900	96.7			
	活動指標(2)		人	2,325	2,464	2,580	2,573	2,705	2,750	93.6			
	成果指標(1)		件	9,607	11,018	12,000	13,070	14,000	14,500	90.1			
	成果指標(2)		%	70	71	74	71	72	74	95.9			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	158,561	165,116	172,553	166,914	173,594	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.40	0.40	0.61	0.30					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,497	3,598	3,598	5,486				2,698	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0	
	総事業費 ++		千円	163,058	168,714	176,151	172,400	176,292					
	単位あたりコスト ÷		円	99,913	97,074	100,371	93,849	94,781					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円	20,060	20,060	20,060	20,060				19,382	
		特定財源計 +		千円	20,060	20,060	20,060	20,060				19,382	
差引:一般財源 -		千円	142,998	148,654	156,091	152,340	156,910						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	104.7		活動指標(2)の15年度達成率%	99.7		15年度予算執行率%	96.7				
		会員数、契約件数、就業実人員とも年々増加している。前年度比で会員数4.4%増、契約件数18.6%増、就業実人員5.7%増それぞれ増加しており、着実に成果を上げている。											
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		分ち合い就業の対象職種を5職種追加し、就業実人員の拡大に努めた。区内に3ヶ所ある分室を拠点とした会員による自主運営形態で実施する自主事業が稼働に乗り始め、就業実人員・契約件数・契約金額の増加につながっている。「お客様満足度調査」を実施し、顧客の要望を把握するとともに、サービスの向上に努めることにより家庭からの発注が増加している。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高齢者人口(高齢化率):昭和54年 45,145人(8.57%) 平成16年 91,367人(17.44%)、シルバー人材センター会員数 昭和54年度 1,280人 平成15年度 2,573人
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	子育て支援や介護・家事援助の担い手として経験・知識を有するシルバー人材センターの会員が期待されている。会員数の増加と自主事業の開拓や拡大などにより、会員の就業に対する考え方も多種多様になってきている。そのため、シルバー人材センターの会員になってもなかなか自分の希望する仕事に就業することができないという苦情もある。
	今後の予測	今後、団塊の世代が定年を迎え、就業に対する多様な考え方をを持った高齢者が、地域に戻ってくることになる。会員の多様な就業に対する要望に応えられるよう就業機会の確保、事業開拓がより一層求められている。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: シルバー人材センターは、高齢者に就業の機会を提供することにより、高齢者の社会参加や生きがいづくりの面で大きく貢献している。したがって、区としてセンターを支援することは重要な施策である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 杉並区において高齢者の就労を確保し、社会参加と交流に貢献している公益法人であり、区が支援する必要がある。
	協働等は実現しているか	理由または具体的内容:
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:
成果向上のための方策 その他(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 該当しない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 荻窪・方南・清水の各分室を生かし、身近な場所での就業情報の提供や自主事業の開発と育成を図り、会員数、就業実人員、契約件数、契約金額を増やしていく。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今年度も引続き、経営評価を行い、経営等の効率化、サービスの向上を図るとともに、経営目標達成の進捗状況の管理手段として、中長期計画を早期に策定する必要がある。区内に3ヶ所ある分室を生かし、身近な場所での就業情報の提供、また会員による自主運営形態で実施する自主事業の開発・育成・拡大、分ち合い就業の推進、スキル講習を発注者と会員両方のニーズに沿ったものにして区民ニーズへの対応とサービスの向上に努めることにより、会員数、就業実人員、契約件数、契約金額を増やしていく。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 高齢者の増加や長引く不況により、シルバー人材センターに就業機会を求めた高齢者は着実に増えているが、区からの発注の増加は見込めない。区からの委託事業に頼らずに経営できるよう自主事業の開拓や拡大を行い、身近な各家庭からの仕事を積極的に引き受けていく必要がある。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	今後も高齢者の増加や長引く不況によって、シルバー人材センターで就業を希望する高齢者が増加するものと思われる。補助金に依存しない事業運営ができる財政基盤としていくことが望ましいが、前述のような社会情勢のもと、安定した事業運営を図るため、前年度程度の予算が必要である。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者いきいき・はつらつ事業				整理番号	297		枝番号						
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2144		昨年度整理番号	320				
係名				いきがい活動支援係				上位施策名		No					
予算事業名				いきがい活動支援		コード	25650		高齢者の社会参加と交流の拡大		30				
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		13年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区高齢者いきいき・はつらつ事業推進会議設置要綱								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)								
	おおむね60歳以上の区民						(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				15年度は、高齢者いきいき・はつらつ事業推進会議、社会活動参加セミナー等教室を開催した。また、高齢者活動支援センターでいきがい活動相談を実施した。 16年度から敬老会館モデル館事業、杉の樹ホール事業をNPO団体等との協働により実施する。								事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が健康で生きがいのある生活を送り、地域でその経験と技術を生かし活動する。		
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 教室等参加者の合計数				(1) 13年度(代)社会活動参加セミナー等教室参加者出席率 14年度～(代)「施策指標アンケート」65歳以上で生きがいを感している人の割合											
(2) 各種高齢者団体による検討会の開催数(平成13年度まで) 高齢者いきいき・はつらつ事業推進会議及び実行委員会の開催数				(2)											
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
							計画		実績		19年度				
指標	活動指標(1)		人	116		105		130		85		400			
	活動指標(2)		回	8		10		10		7		1			
	成果指標(1)		%	82.3		70.4		75.0		77.5		78.0		80	96.9
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	473		376		912		224		3,632		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	1.17	0.00	0.99	0.00	0.55	0.90	1.45	0.00	0.85	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	10,523		8,904		4,947		13,041		7,645		
		非常勤職員分		千円	0		0		2,483		0		0		
	総事業費 + +		千円	10,996		9,280		8,342		13,265		11,277			
	単位あたりコスト ÷		円	94,793		88,381		64,169		156,059		28,193			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円	354		282		684		168		205		
		特定財源計 +		千円	354		282		684		168		205		
差引:一般財源 -		千円	10,642		8,998		7,658		13,097		11,072				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		65.4		活動指標(2)の15年度達成率%		70.0		15年度予算執行率%		24.6		
			情報ガイドの作成をリソグラフ印刷で行ったため、印刷費残												
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			15年度、区内高齢者団体で構成された高齢者いきいき・はつらつ事業推進会議の検討による「社会活動参加セミナー」等を実施し、16年度、推進会議はその役割を終了した。												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高齢者人口の増加に伴い、高齢者のいきがい活動が多様化している。 (平成16年1月1日)杉並区総人口 523,827人 60歳以上の高齢者人口 120,664人 団塊世代の人口 22,436人(1947年から1949年生まれ)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	定年後等のセカンドライフの過ごし方として、地域でなにか活動したい、仲間がほしいなど社会参加の希望がある。
	今後の予測	高齢社会がさらに進む中、団塊の世代が定年を迎え、今後、10余年間で地域社会の人口構成が急激に変化する。地域に団塊の世代が戻ってくる時代に備えて、その経験と技術を生かすことのできる地域社会の構築が求められる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 社会活動参加セミナー等の開催が実現するなど、区内高齢者団体代表で構成された高齢者いきいき・はつらつ事業推進会議が有効に施策への機能を果たした。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 16年度からNPO団体との協働により敬老会館モデル館事業を実施する。杉の樹ホール事業についてもNPO団体や地域のグループの参加、協力を得ながら実施する。 ・敬老会館モデル館事業の企画・運営 ・杉の樹ホール健康講座等の企画や指導
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容: 敬老会館モデル館で対象年齢の拡大や会館時間の延長、NPO団体の運営による新しい事業の開始により利用者の増加が図られる。
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 敬老会館モデル館事業は、受益者負担により実施する。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 敬老会館で新規事業を開始することで利用者の増加と受益者負担による経費の削減が見込まれる。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成16年度10月から敬老会館モデル館事業をNPO団体の運営により開始し、17年度は、事業の充実・拡大を図りながら事業の検証を行い、18年度以降の事業に反映する。また、高齢者活動支援センターや敬老会館で活動するNPO団体やグループで構成する高齢者いきいき事業協働推進連絡会を16年度中に設置し、高齢者活動支援センター、敬老会館での自主的な事業実施を誘導していく。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 敬老会館モデル館事業の新しい層への周知、魅力ある事業の展開と効果的なPR(パブリシティなど)			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由	平成16年度は、敬老会館モデル館事業実施のため初度備品(パソコン等機器)の購入が発生するが、17年度は、事業の内容に変更はなく継続して実施するため減となる。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者のための起業支援				整理番号	298		枝番号					
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2143		昨年度整理番号	321			
係名					いきがい活動支援係					上位施策名		No		
予算事業名					いきがい活動支援					コード		25650		
					高年齢者の社会参加と交流の拡大							30		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		13年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 老人福祉法第4条							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)							
	おおむね60歳以上の起業を考えている高齢者				(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
専門知識を有するNPO法人に事業を委託し、起業意欲のある参加者を募って、起業を想定した講座を開催する。				起業経験者や起業意欲のある参加者同士の交流を図り、これまでの経験や技術等を生かして、起業を実現する。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 起業支援講座参加者数				(1) (代) 講座への参加者数										
(2)				(2)										
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画		目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		人	27	21	40	0	40						
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	62	91	90	0	90						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	94	94	98	0	130	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	130						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.24	0.35	0.25	0.25	0.25						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,159	3,148	2,249	2,249	2,249						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	2,253	3,242	2,347	2,249	2,379						
	単位あたりコスト ÷		円	83,444	154,381	58,675		59,475						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0					0	
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0					0	
差引:一般財源 -		千円	2,253	3,242	2,347	2,249	2,379							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	0.0	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	0.0	過去高齢者の起業家の話や交流の場を設けたが、起業の実践に結びつかなかったため、15年度は予算計上していた起業支援セミナーを開催しなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			専門知識を有するNPO法人に、就業・起業を実現することを前提とした事業を委託し、事業の再構築を図る。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高齢者人口の増大に伴い、働く意欲のある高齢者の増加による就職難、年金支給年齢の引き上げ等高齢者を取り巻く経済情勢は悪化している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	これまでの経験や技術を生かして、新しく企業やNPO法人を設立したいとの要望がある。
	今後の予測	働く意欲のある高齢者が増える一方、高齢者の就職難や意識変化から高齢期の働き方の選択肢が、就業だけでなく、起業やNPOの設立など多様化する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 起業が成功することによって、高齢者の社会参加を促すことができる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 起業に関して専門知識を有するNPO法人に事業委託して、起業を前提とした講座を開催する。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 事業委託するNPO法人が、起業に関する専門知識を豊富に有している。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 高齢者の起業・NPO法人を設立するための講座で、受講者の積極的な意識を喚起するためには、参加者の自己負担も考えられる。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 講座のレベルを保つため、計上している経費は最低限必要である。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 事業の実施を委託したNPO法人に依頼して、起業に関する個別相談・情報提供、起業家同士の交流会など起業にあたっての実務のサポートも行っていく。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 起業に関するセミナーは、都や区の他の所管でも実施している。高齢者の起業意欲を促す内容と他の所管との協力体制を検討する。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 起業の準備(適性・業種)、必要な法律及び財務・資金調達等の問題に関するアドバイスなど実践的な講座内容とする。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者人材バンク				整理番号	299		枝番号					
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2143		昨年度整理番号	320-2			
係名					いきがい活動支援係			上位施策名		No				
予算事業名					いきがい活動支援		コード	25650		高齢者の社会参加と交流の拡大		30		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 老人福祉法第4条							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区高齢者人材バンク設置要綱							
	60歳以上の高齢者、区内の主要な高齢者団体及び地域の自主グループ				(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
社会貢献意欲があり、豊かな知識・技術・経験を持つ高齢者と人材を必要とする団体等(NPO法人、高齢者の自主グループ、社会福祉法人等)を結びつけるため、高齢者人材の登録及び登録者の紹介業務を行い、高齢者の人材活用を図る。				知識・技術・経験等を持つ高齢者と、その能力を必要としている地域の各種団体等が協力しあうことにより、互いに地域社会の担い手として地域づくりに参加することができる。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 人材バンク登録者数				(1) 人材紹介率 = 紹介件数 ÷ 登録者数 × 100										
(2) 人材紹介件数				(2)										
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		人	62	63	100	65	80						
	活動指標(2)		件	0	29	50	3	20						
	成果指標(1)		%	0	46	50	5	25						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	356	31	392	0	701	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)					
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.30	0.30	0.55	0.55						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,698	2,698	2,698	4,947				4,947		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0		
	総事業費 + +		千円	3,054	2,729	3,090	4,947	5,648						
	単位あたりコスト ÷		円	49,258	43,317	30,900	76,108	70,600						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				0		
		国・都等からの支出金		千円	170	15	195	0				350		
		特定財源計 +		千円	170	15	195	0				350		
差引:一般財源 -		千円	2,884	2,714	2,895	4,947	5,298							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	65.0	活動指標(2)の15年度達成率%	6.0	15年度予算執行率%	0.0	予算計上していた高齢者人材バンク周知用ポスター、パンフレットの印刷を行わなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			人・まち・夢プランの検討結果を踏まえて、平成16年度から社会貢献意欲を持つ高齢者が活動に必要な知識・技能を修得できるよう研修を行い、研修を受けた登録者を社会貢献スタッフとして、要望のある施設・団体等へ派遣する。15年度は、人材バンク周知用印刷予算を計上していたが、16年度は社会貢献スタッフを養成する研修費を計上している。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・活動意欲のある高齢者と受け入れ先である団体等との間に求められる種目、レベル等にミスマッチが生じている。	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・各人の保有する特技や資格を生かして、地域に役立ちたいと望んでいる高齢者は多い。	
	今後の予測	・今後団塊の世代が退職を迎え、地域に戻ってくるにあたって、その経験・知識・能力を生かすことで、地域社会の活性化が図られる。	
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)		理由: 高齢者の特技や資格を有効に活用することで、高齢者自身の社会参加の促進と世代間交流や知識の伝承などが期待できる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)		理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)		理由または具体的内容: 専門知識を有するNPO法人に講師の派遣を依頼して、登録者を団体等に派遣するにあたっての講座を開催する。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)		
	協働等の主な形態 その他(具体的内容)		
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)		理由または具体的内容: 研修講師をNPO法人自らが養成する仕組みを構築することで、高齢者の活躍する場が広がる。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容: 地域と人材を結びつける事業のため、受益者負担にはなじまない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)		平成16年度の変更内容を継続して実施する。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 今後高齢者となる団塊の世代の退職後の就業・社会活動を支援するため、専門知識を有するNPO法人に委託して、活動に必要な知識・技能等の修得に役立つ研修を行い、社会貢献スタッフとして地域に派遣するシステムを構築する。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 人材養成講座の整備・充実し、人材派遣先を発掘する。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
(2) 理由 現登録者に対する講師派遣研修は終了し、17年度は新規に登録した者に限られる。			

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		長寿祝い品贈呈				整理番号	311		枝番号		
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課			コード	091403	連絡先電話番号	2143		昨年度整理番号	334	
係名 いきがい活動支援係					上位施策名				No		
予算事業名 敬老事業					コード	30150			高年齢者の社会参加と交流の拡大		30
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				50 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 老人福祉法第4条、第20条の7						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)						
	満100歳以上の高齢者				(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 長寿の祝いとして、区が予め送付したカタログの中から該当者が選んだ品物を誕生月に贈呈する。また、100歳に到達した者のうち希望者には、区長ほか区幹部職員が自宅を訪問して祝い品を贈呈する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が周囲から長寿を祝われることにより、自分が大切に思われているという意識が醸成される。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 祝い品贈呈者数				(1) 区全人口に占める100歳以上の高齢者の割合							
(2) 訪問希望者数				(2)							
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	115	117	204	171	134			
	活動指標(2)		人	11	13	15	16	20			
	成果指標(1)		%	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	803	775	1,152	928	1,715	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.53	0.40	0.30	0.30	0.32			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,767	3,598	2,698	2,698			2,878
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	5,570	4,373	3,850	3,626	4,593			
	単位あたりコスト ÷		円	48,435	37,376	18,873	21,205	34,276			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	5,570	4,373	3,850	3,626	4,593				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	83.8	活動指標(2)の15年度達成率%	106.7	15年度予算執行率%	80.6	転出・死亡、辞退により祝い品を贈呈できない対象者がいたため。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			14年度までは、9月の敬老月間に対象者へ祝い品を贈呈していたが、誕生月に贈呈する方法に改めた。また、贈呈の基準を年度の3月31日とし、都の長寿祝い品贈呈事業の基準と一致させた。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.4% 平成元年11.4% 平成16年 17.44%
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	お礼や喜びの手紙・電話が寄せられている反面、これらの財源を他の高齢者施策や若年世代の施策に有効活用してほしいとの要望もある。
	今後の予測	区の高齢化率の推移予測(65歳以上の総人口に占める割合) 平成17年17.89% 平成22年19.78%
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 身近な自治体である区が100歳以上の高齢者への長寿の祝いの気持ちを表わすことで、孤立しがちな高齢者の孤独感の解消に役立つ。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由: 区が自ら長寿の祝いの気持ちを表明することが大切である。
	協働等は実現しているか 当面実現は困難である(理由)	理由または具体的内容: 個人情報扱う部分が多く、また、行政自ら実施することに意義がある。
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 長寿の祝いの気持ちを表わす形として、長寿の品を贈る以外の方法を検討する。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 慶事の祝いに受益者負担はなじまない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 1件あたりの祝い品のコストを下げる。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 祝い品をカタログによる選択方式にしたことで、高齢者自身また家族等の関係者から好評の声が増えたが、長寿への敬意を表わす方法として、祝い品を贈呈するという形でない方式についても、引き続き検討する。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 新しい形式で長寿の気持ちを表わすことについては、区民の理解を得る必要がある。							
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 祝い品を贈呈するという形が定着しているので、同様の形式でお祝いの気持ちを表明する。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		75歳・81歳(半寿)顕彰				整理番号	312		枝番号	1			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2143		昨年度整理番号	336		
係名				いきがい活動支援係				上位施策名		No			
予算事業名				敬老事業		コード	30150		高齢者の社会参加と交流の拡大		30		
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 老人福祉法第4条、第5条、第13条1項、第20条の7 杉並区立高齢者活動支援センターおよび敬老会館余例							
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)							
	75歳の高齢者 81歳(半寿)の高齢者					(3)							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			敬老会招待年齢に達した75歳を祝って、記念品を贈呈する(平成15年度から)。 満81歳の高齢者を敬老会とともに開催する半寿顕彰式典に招待し、お祝いする。また、子どもたちの手づくりによる祝い品や記念品を贈呈し、高齢者と子どもとの交流を図る。		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) ・75歳は、自分の生活を見直す節目の時期である。75歳到達者に記念品を贈呈することで、これからも元気で生活していくことを考えるためのきっかけとする。 ・対象者が81歳(半寿)を人生の半ばと考え、今後も活躍の意欲をもてるようにする。また、半寿の祝いをとおして、高齢者と子どもとのふれあいの機会を促進する。							
活動指標名(式)			(1) 対象者数(75歳顕彰) (2) 対象者数(81歳顕彰)		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 訪問による配布率 = 訪問数 ÷ 対象者数 × 100 (2) 半寿交流会の参加率 = 参加数 ÷ 対象者数 × 100								
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画		目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		人					4,300	4,171	4,300			
	活動指標(2)		人	2,541		2,602		2,800	2,665	2,833			
	成果指標(1)		%			6		7	3	0			
	成果指標(2)		%			6		9	17	20			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,269		4,744		12,753	11,322	12,763		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 75歳顕彰は、平成15年度から実施。 16年度から、81歳対象者への祝い品配布は全戸業者配送とする。	
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.64		1.00		0.50	0.52	0.60			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,756		8,994		4,497	4,677	5,396			
		非常勤職員分	千円	0		0		0	0	0			
	総事業費 ++		千円	9,025		13,738		17,250	15,999	18,159			
	単位あたりコスト ÷		円					4,012	3,836	4,223			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	0		14		29	29	21		
		特定財源計 +		千円	0		14		29	29	21		
差引:一般財源 -		千円	9,025		13,724		17,221	15,970	18,138				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		97.0		活動指標(2)の15年度達成率%		95.2		15年度予算執行率%	88.8	
			消耗品の執行残										
前年度の改革案の取り組み状況(16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			敬老会館や児童館・保育園、一部私立幼稚園と民間の高齢者施設入所者など全区的に高齢者と子どもとの交流が図れた。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	一人暮らし高齢者 平成3年～7年 11.9% 8年～12年 11.3% 13年～14年 12.7% 高齢者のみの世帯 平成13年～14年 25.5%
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	子どもたちの手づくりによる祝い品に対して、感謝の手紙が寄せられた。 半寿という慶事に対して問合せを寄せる区民が多い。
	今後の予測	65歳以上高齢者人口 平成16年 91,367人 平成17年 91,651人 平成22年 100,021人
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由:一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加している中、高齢者が自分が大切にされているという意識が醸成され、子どもとのふれあいの機会が拡大する。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由:地域でのふれあいの機会を拡大するという観点から、最も身近な地域の単位である小学校通学区内の区立児童館・保育園等の協力を得ながら、実施していく必要がある。
	協働等は実現しているか	理由または具体的内容:
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:児童館・保育園、幼稚園などに、地域での高齢者との交流の意義の重要性を理解してもらい、一層幅広く交流事業を拡大していく。	
成果向上のための方策 その他(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:長寿を祝うという事業から、受益者負担にはなじまない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:1件あたりの祝い品の単価の引下げ	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1)改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・高齢者への敬意を表わす形式として、祝い品の贈呈だけがふさわしい方法なのか検討する。 ・平成15年1月策定「交流事業推進検討会報告書」に基づき、5ヵ年で44の全小学校通学区で交流が図れるようにする。		
17年度方針	(2)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・祝い品贈呈以外の方法で長寿への敬意を表わすことについて、区民の理解を得る必要がある。 ・実施地域を広げていくにあたって、区の施設だけでなく、私立幼稚園やふれあいの家など民間の協力が必要となる。		
	(1)17年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2)理由 75歳、半寿祝い品の贈呈や地域での交流会の開催を16年度同様行うことによって、高齢者への敬意が表明でき、また、高齢者と子どもたちとの交流の拡大が図られるため。

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老会			整理番号	312		枝番号	2		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	2143		昨年度整理番号	335
係名				いきがい活動支援係				上位施策名		No	
予算事業名				敬老事業		コード	30150		高齢者の社会参加と交流の拡大		30
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		25 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 老人福祉法第4条、第5条、第13条第1項					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)					
	75歳以上の高齢者					(3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催する。敬老会式典と併せて、半寿（81歳）の顕彰式典を開催する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 敬老会を開催し、長寿を祝い、敬老の意を表することにより、高齢者自身が尊重されているという意識の醸成が図られるとともに、健康の増進の一助となる。					
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 来場者					(1) 来場率 (来場者 ÷ 対象者数) × 100						
(2)					(2)						
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	3,694	3,466	3,553	3,416	3,870			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	9.6	8.5	8.4	8.2	8.7			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,740	3,614	7,000	7,192	7,241	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	189	220	4,568	4,565	4,568			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.74	0.80	1.00	1.22	0.90			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	6,656	7,195	8,994	10,973	8,095			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	9,396	10,809	15,994	18,165	15,336			
	単位あたりコスト ÷		円	2,544	3,119	4,502	5,318	3,963			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	2,378	1,755	0	3,904			3,651
		特定財源計 +		千円	2,378	1,755	0	3,904			3,651
差引:一般財源 -		千円	7,018	9,054	15,994	14,261	11,685				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	96.1	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	102.7	事業方針の変更に伴い、必要経費を補正予算及び流用で予算計上し執行した。 変更点 敬老会休止から実施への変更		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			半寿顕彰式典の実施方法を検討し、15年度同様式典を敬老会の中で実施することとした。また、私立幼稚園等との連携を拡大し、招待地域の園に敬老会への参加協力を得て「半寿を祝う会」を実施する。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	敬老会を開始した当時は戦後で娯楽の少ない時代であったが、現在は高齢者が日常的に趣味や娯楽を楽しめるようになった。 高齢者(75歳以上)の人口(総人口に対する比率) 昭和27年 2,993人(0.8%) 平成16年 41,941人(8.2%)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	普段外出する機会が少ないので、敬老会を楽しみにしている。
	今後の予測	敬老会の対象となる高齢者(75歳以上)の増加
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 高齢者のための敬老イベントとして代表的な事業であり、区民の期待や関心が高く、高齢者のひきこもりの防止や交流の拡大に貢献している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 杉並区いきいきクラブ連合会の協力を得て、半寿頭彰式典列席者を推薦していただいている。また、いきいきクラブ会員で組織する敬老会企画委員会を開催している。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 明治から昭和世代の高齢者に喜んでもらえる事業内容を検討する。	
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 敬老事業であり、受益者負担になじまない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 招待状の郵送料などは開催に必要な最低限の経費のみを見積もっているため、削減の余地はないが、敬老会の開催日数の縮減や演芸等を見直すことによって、コスト削減の余地はある。また75歳敬老祝品については、色紙を添えるなど記念品としての要素も強く、これ以上のコストは下げられない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 杉並公会堂が開設する平成18年度までに、敬老会の開催方法について、民間団体との協働実施を含め検討する。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 杉並公会堂が改築中のため、現行の開催方法で実施する。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者活動支援センター運営・管理				整理番号	313		枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401	連絡先電話番号	1125		昨年度整理番号	338		
係名		施設担当		上位施策名				No				
予算事業名		高齢者活動支援センター運営 高齢者活動センター維持管理		コード	091401	高齢者の社会参加と交流の拡大				30		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 老人福祉法 第15条、第20条の2							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高齢者が快適な時間をすごせるよう、施設の維持・設備の維持を行うとともに、施設内の講座室や杉の樹ホルルの貸し出し等を行う。		(3) 老人福祉センター設置運営要綱(国)							
	活動指標名(式)		(1) 年間利用者数		(2)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 多くの高齢者が施設を利用することで、高齢者の交流が活発になる。 施設の活用により、高齢者の自主的な活動が活発になる。 施設利用者がくつろいだ楽しい時間を過ごすことができる。					
成果指標名(式)		(1) センター利用率 年間利用者数 ÷ (60歳以上区民数 × 1回 × 12月) ×		(2) * 月1回の利用を標準利用回数とした								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%			
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		人	79,378	71,350	77,965	77,278					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	6	6	6	7					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	66,689	88,833	66,784	49,549	64,795	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	1.38	1.20	1.37	0.52	1.40				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	12,412	10,793	12,322	4,677	12,592				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	79,101	99,626	79,106	54,226	77,387				
	単位あたりコスト ÷		円	997	1,396	1,015	702					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	79,101	99,626	79,106	54,226	77,387					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	99.1		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	74.2			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開設から21年が経過し、施設及び設備は老朽化が進行している。区が実施していた各種事業は終了し、平成15年4月より高齢者団体の自主的な活動の拠点として転換を図った。事業は高齢者施策課いきがい活動支援係がNPOに委託し、施設管理は区民センターと総合管理を行うこととした。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	杉の樹ホールのグループ活動がカラオケに偏っていることについての苦情がある。
	今後の予測	高齢者団体の自主的な活動の拠点として転換を図っている。施設・設備については、劣化が進行し、購入年数が経過している備品等の修理費が増えている。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	高齢者人口が増大する中で、高齢者の交流促進に大きな役割を果たしている。今後、高齢者のいろいろな活動の拠点としての重要性は増すと考えられる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	
	協働等は実現しているか 実現していないが今後可能性がある(具体的内容)	理由または具体的内容:指定管理者に移行予定
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 その他(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:指定管理者に変更	
成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:開館後20年が経過し、その間無料施設として高齢者に開放している中で、新たに受益者に負担を求めることは困難である。指定管理者への移行時もしくは施設大規模改修時に改めて検討する。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	現在のコストは、施設維持に関するものであり、施設の老朽化の状況から現在以上の経費削減は困難である。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 指定管理者への移行を前提に、高齢者のいきがい活動・社会参加を支援するための拠点として、今後の事業展開に合わせた施設整備の検討を行い施設活用の充実を図る。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者ための相談事業				整理番号	314		枝番号						
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403	連絡先電話番号	2144		昨年度整理番号	339					
係名					いきがい活動支援係			上位施策名		No					
予算事業名					健康事業		コード	29550		高齢者の社会参加と交流の拡大	30				
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		58年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 老人福祉法第14条の5								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館条例								
	60歳以上の区民						(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				健康・生活相談：高齢者活動支援センター及び敬老会館で高齢者の疾病予防と健康に関する相談及び日常生活に関する相談を実施する。 就労相談：高齢者活動支援センターでシルバー人材センター職員が月4回実施する。								事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 健康・生活相談を受けることにより疾病の予防、早期発見、健康等に関する不安を解消する。 就労相談で、就労機会の確保についての助言を受ける		
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 各種相談利用率 = 各種相談利用者数 / 60歳以上の区民数 × 100 (2)											
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
							計画		実績		計画		年度		
指標	活動指標(1)		人	3,299		4,067		4,000		8,118		8,000			
	活動指標(2)		人												
	成果指標(1)		%	2.9		3.5		3.4		6.9		6.6			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,263		21		25		24		25		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	1.06	2.00	0.01	1.00	0.01	1.00	0.12	0.90	0.10	0.80		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	9,534		90		90		1,079		899		
		非常勤職員分		千円	5,518		2,759		2,759		2,483		2,207		
	総事業費 ++		千円	17,315		2,870		2,874		3,586		3,131			
	単位あたりコスト ÷		円	5,249		706		719		442		391			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円	730		10		12		12		12		
		特定財源計 +		千円	730		10		12		12		12		
差引:一般財源 -		千円	16,585		2,860		2,862		3,574		3,119				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		203.0		活動指標(2)の15年度達成率%				15年度予算執行率%		96.0		
			用紙購入等の執行残												
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			敬老会館への巡回相談を非常勤保健師1名の体制で実施している。 就労相談は、利用率が低下しているが、相談の希望もあることから高年者就業相談所からの派遣は廃止し、シルバー人材センターからの派遣を継続して実施している。												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	60歳以上の人口推移 昭和58年 13.69% (71,182人) 平成16年 23.04% (120,664人) 利用者の後期高齢化が目立つとともに単身者・痴呆など処遇困難な相談が多くなっている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	身近な敬老会館での健康相談の要望がある。
	今後の予測	高齢者人口が増加する中で、疾病予防、早期発見、閉じこもり・寝たきり防止のために、健康相談は重要性を増している。 就労を求める高齢者は増加するが、就労機会の拡大は、社会情勢により厳しくなる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 健康・生活相談を受けることにより健康等に関する不安の解消に役立っている。また、就労相談では、就労機会についての情報を身近な場所で得ることができる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 健康・生活相談は事業の性質から行政が自ら実施する。 就労相談は、シルバー人材センター職員が出張相談を実施している。
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容)	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 健康・生活相談は、高齢者活動支援センター、敬老会館で実施しており、非常勤職員1名でこれ以上の増加は難しい。 就労相談は、NPO団体の就業支援事業との統合を図る。
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 相談事業の性質から受益者負担はふさわしくない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由: 経費は、健康相談資料、応急用品の購入となっている。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 健康・生活相談は、事業のPRを行い、周知を図る。 就労相談は、平成17年度の実施方法について就業・起業支援事業との統合等の検討する。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特になし		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 平成16年度の予算規模のまま、相談事業を実施する。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者ゲートボール場			整理番号	315		枝番号	1				
担当部課名		保健福祉部 高齢者施策課		コード	連絡先電話番号	1124		昨年度整理番号	340				
係名 施設担当				上位施策名				No					
予算事業名				高齢者活動支援センター運営		コード	29550		高齢者の社会参加と交流の拡大		30		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				58 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区高齢者ゲートボール場管理運営要綱								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)								
	60歳以上の区民で構成される10名以上の団体				(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ゲートボール場の適切な管理及びゲートボール団体の登録、使用抽選等の運営を行なう。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者グループがスポーツ活動(ゲートボール)を通じて生活に楽しみを見出し、交流を深める。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 登録団体数				(1) 週1回以上活動できた団体数 ÷ 登録団体数 × 100									
(2)				(2)									
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
							計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標(1)		団体	29		26		26	24	24			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	100		100		100	100	100			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	349		366		294	785	294	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	293		260		268	268	268			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.06		0.03		0.03		0.03			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	540		270		270	270			270
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0			0
	総事業費 + +		千円	889		636		564	1,055	564			
	単位あたりコスト ÷		円	30,655		24,462		21,692	43,958	23,500			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0			0
差引:一般財源 -		千円	889		636		564	1,055	564				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	92.3		活動指標(2)の15年度達成率%			15年度予算執行率%	267.0			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			予算外であったがゲートボール場の雨水対策のため、土盛りと雨水升を下げる工事を行なった。 年度途中で解散した団体があり、活動指標の達成率は低下した。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年度から、利用団体数は増加から減少へ転じた。杉並区のゲートボール人口は減少している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	開設当初より水はけが悪く、大雨や雪の後、利用に支障をきたすことがある。
	今後の予測	現在、高齢者専用ゲートボール場は2面ともほぼ毎日利用されている。また、これ以外に荻窪小学校建設予定地(宮前ゲートボール場)を借用しており、現状では利用者ニーズに対応している。 ゲートボール場は平成15年度土の掘り起こし等を含めた改修を行なった。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:高齢者の健康増進に効果があり、利用者相互の交流・親睦に役立っている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由:施設の清掃を委託している
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容:併設施設である児童青少年センターと合わせて清掃管理委託を行なっている。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容:登録団体数は微減しているが、コート数に対して利用希望は限界に達しており、ほぼ毎日の利用となっている。今後宮前ゲートボール場の借り受けが終了した場合各団体の利用制限の必要がでてくる。	
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:高齢者の健康増進のための事業であり、他の高齢者を対象とした施設とのバランスから、無料のままとしたほうがよい。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現在の経費は、ゲートボール場の清掃経費、消耗品、水道料等の必要最低限の経費であり、これ以上の削減はできない。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ゲートボール人口はここ数年激減しており、高齢者のレクリエーションは多様化している。こうした現状から、より多くの高齢者が利用できる施設とするためにはゲートボール専用から多様な利用対象への開放を検討する。						
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 ゲートボール場としての使用環境を維持するためにゲートボール場の整備を年間に計画的に行なう。						

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者の学習機会・いきがい活動の提供				整理番号	315	枝番号	2	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403	連絡先電話番号	2144	昨年度整理番号	340	
係名				いきがい活動支援係				上位施策名		
係名				いきがい活動支援係				No		
予算事業名		高齢者活動支援センター運営		コード	29550	高齢者の社会参加と交流の拡大				
予算事業名		敬老会館運営		コード	29750					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				58年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1)					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)					
	60歳以上の区民				(3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）					
年間を通して、教養、健康、スポーツなどの講座を実施する「杉の樹大学」、高齢者の関心が高いテーマで開催する「公開講座」等を地域で活動するNPO法人に事業を委託し実施する。				高齢者が地域での学習活動・グループ活動を通し、生きがいを高め、地域の仲間をつくる。また、それぞれの経験と知識を活かし、積極的に社会活動に参加する。						
活動指標名(式)										
(1) 杉の樹大学受講者数				(1) 杉の樹大学OB連合会入会率 (連合会入会者数) ÷ (杉の樹大学受講者数)						
(2) センター事業参加者数 (杉の樹大学、公開講座等、杉の樹ホール事業)				(2) センター事業参加率 (センター事業参加者数) ÷ (区内60歳以上の高齢						
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		人	114	42	1,500	1,846	2,000		
	活動指標(2)		人	3,318	1,395	50	50	50		
	成果指標(1)		%	15.8	17.8	20.0	50.0	50.0		
	成果指標(2)		%	2.87	1.21	1.30	1.56	1.66		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,438	1,558	5,080	3,279	4,028	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成15年度から活動指標の(1)と(2)を入れ替え指標とする。敬老会館事業は、平成15年度から実施。	
	(内)委託費		千円	450	817	5,013	3,229	3,961		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.65 0.00	1.10 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	14,840	9,893	3,598	3,598	3,598		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	16,278	11,451	8,678	6,877	7,626		
	単位あたりコスト ÷		円	142,789	272,643	5,785	3,725	3,813		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円			2,506	1,614		1,980
		特定財源計 +		千円	0	0	2,506	1,614		1,980
差引:一般財源 -		千円	16,278	11,451	6,172	5,263	5,646			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	123.1	活動指標(2)の15年度達成率%	100.0	15年度予算執行率%	64.5		
			杉の樹大学講座の一部を受講生が企画・運営し、実施内容等の変更で経費減となった。							
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			・平成15年度からNPO法人杉の樹カレッジに杉の樹大学、公開講座等の事業を委託し、実施している。							

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	60歳以上の人口推移 昭和58年 13.69% (71,182人) 平成16年 23.04% (120,664人)
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢者の学習機会や活動の場の充実について期待が寄せられている。
	今後の予測	団塊の世代が定年を迎え、今後、10余年間で地域社会の人口構成が急激に変化する。新しく地域に戻る団塊の世代も含め、高齢者の生きがいを高める活動や学習活動などの社会参加の場と機会の拡大が求められる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 学習活動を通して、地域での仲間づくりがすすみ、それぞれの能力を活かした自主的なグループ活動を立ち上げるなど社会参加に役立っている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: 杉の樹大学、公開講座等の事業運営をNPO法人杉の樹カレッジに委託している。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 敬老の日を中心とした敬老会館での交流事業以外に、杉の樹大学卒業生などの事業運営参加により新規講座を実施する。	
成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 受講料の徴収について検討を行う。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 今後、NPO法人が受講料収入を得ることとなれば、委託料を見直す余地がある。	

今後の事業のあり方 (中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域のNPO団体、グループとの連携や杉の樹大学卒業生などの事業運営参加を誘導する。18年度以降は、敬老会館モデル館事業の検証を踏まえ、受講料の徴収も含めた高齢者活動支援センター、敬老会館の事業について検討する。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 特になし		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 予算規模は、16年度のまま、NPO法人の自主事業の充実を図る。

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老会館施設維持管理及び運営委託				整理番号	316		枝番号		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401	連絡先電話番号	1125		昨年度整理番号	341	
係名		施設担当		上位施策名				No			
予算事業名		敬老会館維持管理		コード	38450		高齢者の社会参加と交流の拡大			30	
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		38年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		(1) 老人福祉法第4条						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 老人憩の家の設置運営について						
	60歳以上の区民及び60歳以上の区民が8割以上の団体		(3) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 団塊の世代を含めた幅広い年齢層の高齢者が気軽に利用できる憩いの場であり、地域住民や子ども、高齢者相互の交流が活発である。舞踊、書道、体操、ITサロンや生涯学習、能力を生かした社会参加への準備活動、健康増進及び介護予防となる活動など高齢者が自主的に生きがいをもって活動する拠点となる。								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 年間延利用者数		(1) 会館利用率 = 年間延利用者数 ÷ (60歳以上の区民人口 × 2回 × 12月) × 100 * 月2回を標準利用回数とする。									
(2) 利用団体数		(2) 新規利用団体数(前年度2月抽選時)									
指標	区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		22年度			
	活動指標(1)	人	249,114	260,563	270,000	269,806	280,000	354,300	76.2		
	活動指標(2)	団体	428	470	470	501	521	693	72.3		
	成果指標(1)	%	9.2	9.3	9.5	9.5	9.6	10.9	87.2		
成果指標(2)	団体	55	40	40	37	50	32	115.6			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	96,076	77,574	100,151	83,041	108,557	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	19,329	23,454	41,531	28,024	47,403			
	職員数(正規 非常勤)		人	25.38 42.00	20.03 48.00	17.30 47.00	18.00 45.00	15.90 40.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	228,268	180,150	155,596	161,892	143,005			
		非常勤職員分	千円	115,878	132,432	129,673	124,155	110,360			
	総事業費 + +		千円	440,222	390,156	385,420	369,088	361,922			
	単位あたりコスト ÷		円	1,767	1,497	1,427	1,368	1,293			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引: 一般財源 -		千円	440,222	390,156	385,420	369,088	361,922				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	99.9	活動指標(2)の15年度達成率%	106.6	15年度予算執行率%	82.9	15年度は、敬老会館利用者数もほぼ計画どおりの数値を達成し、新規利用団体や既存の団体活動の増加が見られた。当初、民間企業への受付業務委託は3館が予定されていたが、2館に変更となり、そのため予算執行率は82.9%となった。			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		「敬老会館あり方検討会」の方針により、現在の後期高齢者中心の利用のあり方から団塊の世代を含んだ利用者獲得へと事業の方向性が定まった。16年・17年度で3敬老会館をモデル館とし、NPOへ事業委託する形で、IT・生きがい・介護予防をテーマとし、モデル事業を開始した。それに伴い、開館時間も延長する。またこれまで敬老会館を利用したことのない高齢者へ向けて、各敬老会館正規職員が中心となり、チラシやポスターを作成し、町会等への配布を行い、五つ星区役所運動の一環として、職員の意識改革も行った。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区内の高齢者人口(65歳以上) 平成元年度 59,396人 平成16年 91,367人 杉並区内の要介護等高齢者でない(敬老開館利用対象者と考えられる)高齢者人口 平成元年度 54,407人 平成16年度 82,687人 敬老会館利用高齢者活動グループ数(延べ数) 平成元年度1,991団体 平成16年度 6,404団体
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	多くの会館が2階に設置されているため玄関アプローチが長くなっていたり施設内に段差があるなど体の自由が利かない高齢者にとって大きな負担になっている。 高齢者の憩いの場として設計されてきたため、畳の部屋が多く、各部屋が独立していない構造となっており、多種多様な高齢者の活動に対応しきれず、IT化も難しい。
	今後の予測	団塊の世代を高齢者準備世代として迎えていく状況にあり、その世代を呼び込むモデル館事業をスタートさせたことにより、今後一層の利用者拡大、利用年齢層の拡大が進むと思われる。既存の後期高齢者世代との調整を図る必要がある。また虚弱な高齢者も利用対象とし、そのための施設整備を進めていく必要がある。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由) ▼	理由: 高齢者人口がますます増える中で、元気な高齢者の活動の場の拠点となる場所へのニーズも増える。虚弱な高齢者を支えていく役割も重要となっており、敬老会館の果たす役割は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^) ▼	理由:
	協働等は実現しているか 一部実現している(^) ▼	理由または具体的内容: の協働等の相手には、NPOのほか、民間企業への委託も行っている。今後も、NPOと事業協力、事業委託を行ない、指定管理者制度への移行も課題とする。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) ▼	
	協働等の主な形態 事業協力(具体的内容) ▼	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() ▼	新規利用者を獲得するためにモデル事業を開始し、地域住民や子どもたちとの交流事業を活発化していく。	
成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容) ▼		
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 厚生省通知「老人憩いの家の設置運営について」により、施設の利用は原則として無料と定められているが、「あり方検討会」の結果を踏まえ、モデル館事業については、事業実施による参加者からの受講料、会費で運営する。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容) ▼	理由または具体的内容: 正規職員退職不補充とし、非常勤職員による対応ができない館については、受付業務委託としていく。また、既存の業務委託館と併せ、指定管理者制度への移行についても検討を進める。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	成果: ● 増 ○ 現状維持 ○ 減	協働等: ○ 実施継続 ● 推進 ○ 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 16年度中に、学識経験者、関係団体等で構成する新たな敬老会館の構築に向けた検討組織を設置し、モデル事業を実施した敬老会館の検証結果を踏まえ、計画的な改築・改修に向けた新たな敬老会館の位置付け、業務委託・指定管理者制度への移行等について検討を行う。			
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ● 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし		
	(2) 理由	引き続き、職員の非常勤化を進めていくが、非常勤化でまかないきれない部分は、業務委託で対応するため。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老会館改修・改築				整理番号	317		枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	1123		昨年度整理番号	新規	
係名 計画推進担当				上位施策名				No				
予算事業名 敬老会館改修				コード	39450		高齢者の社会参加と交流の拡大				30	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 15年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 老人福祉法第4条							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 老人憩の家の設置運営について(厚生省社会局通知)							
					(3) 建築物の耐震改修の促進に関する法律及び同施行令							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 平成15年度大宮前敬老会館耐震補強工事 平成17年度設計2館(井草・下高井戸) 平成18年度改築1.5館(") 平成19年度設計1館(高円寺南)、改築0.5館(井草)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が、安全で快適な時間を過ごし、多様な生きがい活動を充実できるようにする。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 改築した敬老会館数				(1) 改築した敬老会館 / 築20年以上経過し、トイレが男女共用または狭く、会館面積200㎡以下の敬老会館 × 10								
(2)				(2)								
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績		19年度				
指標	活動指標(1)		所			1	1		3	33.3		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)					11.1	11.1		33.3	33.3		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円			10,000	9,729	0	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人									
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0	0				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	0	0	10,000	9,729	0				
	単位あたりコスト ÷		円			10,000,000	9,729,000					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	0	0	10,000	9,729	0					
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	97.3				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和40年代に建設された施設が多く、建物自体の老朽化が進んでいる。施設の玄関への長いスロープや施設内の段差、トイレの男女共用など高齢者向けの施設としては現在では考えられないような設備がそのまま残っている。和室2、洋室、茶室、浴室等からなる部屋の構成も現在の高齢者の需要にあわない。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	団体利用するには、各部屋の独立性が悪く、使い勝手が悪い。高齢者にとって、2階玄関までのスロープが長く、利用しにくい状況である。
	今後の予測	団塊の世代がまもなく高齢者となり、利用対象者は今後も増加する。元気高齢者層が、これまでの活動から一歩進んだ形で自らの生きがいを充実させる拠点として活用したり、虚弱な高齢者にも使えるような施設整備が望まれている。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:高齢者人口がますます増える中で、元気な高齢者の活動の場の拠点となる場所へのニーズも増える。虚弱な高齢者を支えていく役割も重要となっており、敬老会館の果たす役割は大きい。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由:施設の目的、性格等から、PFI等による建設はなじまない。
	協働等は実現しているか 当面実現は困難である(理由)	理由:施設の目的、性格等から、PFI等による建設はなじまない。
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由:従来の敬老会館設計基準にとらわれない、新たな時代に対応した敬老会館の設計。
成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由:施設の目的、性格等から、PFI等による建設はなじまない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [事業の統廃合] (具体的内容)	統廃合	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年度設計2館、平成18年度改築1.5館、平成19年度設計1館、改築0.5館		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 設計2館の予定

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		三療サービス				整理番号	319		枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2143		昨年度整理番号	343	
係名				いきがい活動支援係				上位施策名		No		
予算事業名				健康事業		コード	29950		高齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館設置条例 (2) 杉並区三療サービス事業実施要綱 (3) 杉並区立高齢者活動支援センター三療サービス事業実施要綱					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他							
	60歳以上の区民				杉並区高齢者三療サービス連絡協議会							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				敬老会館（32館）及び高齢者活動支援センターにおいて、マッサージ・はりを行う三療サービスを「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 利用者が、三療サービスを受けることを通じて健康が維持できる。					
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 三療サービス敬老会館利用者数						(1) 利用率 = 利用者数 / 60歳以上の区民 × 100						
(2) 三療サービス高齢者活動支援センター利用者数						(2)						
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績	計画		年度			
指標	活動指標(1)		人	4,310	4,205	4,300	4,147	4,320				
	活動指標(2)		人	2,288	2,068	2,300	2,460	2,448				
	成果指標(1)		%	5.6	5.3	5.5	5.5	5.6				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,710	11,593	12,089	11,677	12,155		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	9,202	10,037	10,127	10,270	10,314				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.20	0.25	0.32	0.50				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,799	1,799	2,249	2,878	4,497				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	12,509	13,392	14,338	14,555	16,652				
	単位あたりコスト ÷		円	2,902	3,185	3,334	3,510	3,855				
	財源	受益者負担分		千円	0							
		国・都等からの支出金		千円	5,704	3,379	6,052	5,515	5,515			
		特定財源計 +		千円	5,704	3,379	6,052	5,515	5,515			
差引:一般財源 -		千円	6,805	10,013	8,286	9,040	11,137					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	96.4	活動指標(2)の15年度達成率%	107.0	15年度予算執行率%	96.6				
			休館等で予定されていた施術が行われなかったため。									
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			10月から、阿佐谷北敬老会館において健康事業を中心とした事業を実施する。その事業の一つとして、各敬老会館で週1回実施している三療サービスを、同敬老会館で毎週水曜日に行うこととする。費用については、16年度祝日等で実施できない館の費用を当てる。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	東京都の高齢者人口(60歳以上)の構成比 平成4年16.5% 平成6年17.9% 平成8年19.4% 平成10年20.8% 平成12年21.7% 平成14年22.9% 平成16年24.1% 杉並区の高齢者人口(60歳以上)の構成比 平成16年23.4%
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	利用機会の均衡化と施術者の技量の差の是正。
	今後の予測	高齢者の増加に伴い需要が見込まれる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:高齢者の健康の維持に一定の役割を果たしている。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(へ)	理由または具体的内容:杉並区高齢者三療サービス連絡協議会に委託。
	協働等は実現しているか 一部実現している(へ)	
	協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(へ)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:三療サービス実施の際に予約枠を空けない。	
成果向上のための方策 その他(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:現在700円を徴収して利用者に施術を行っており、それが、施術者の収入となっている。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:利用者の負担を上げることにより、施術者の収入向上につながるため、施術者に対する委託料を削減することができる。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 高齢者の健康維持と視覚障害者の雇用促進という両面から重要な事業と位置付けて、今後、阿佐谷北敬老会館で実施するモデル事業を検証しながら利用率の向上、施術費用等について検討していく。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委託先の「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」と利用者の理解を得る必要がある。また、三療サービスの利用者を増やすためのPR活動と、三療サービスと他の健康事業(栄養講座、健康体操等)を組み合わせ魅力ある事業を展開する必要がある。		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 利用者を拡大させるため施術者の技能向上を図る。地域交流等を行いながら三療サービスの周知を図るとともに、他の健康事業(栄養講座、健康体操等)と組み合わせしていく。